

五中生のみなさんへ(その2)

5月の朝礼では中間考査にむけてしっかりと家庭学習を行なってくださいとお話をしています。そして運動会や校外学習、生徒総会・地域清掃など中学校生活における様々な行事が行われる季節です。自分の役割をしっかりと果たし、一生懸命に努力をしましょうと激励をしていました。しかし、今年はずっと違う新学期になりました。

青森県や鳥取県はすでに7日から学校を再開したようです。学級を2つに分けて半数ずつ交代で登校する「分散登校」にし、「3密」を避けるようにしているようです。

清瀬市も学校を再開するときは「分散登校」を考えています。五中では5通りの分散登校の方法を検討中です。また、校舎内のコロナ感染予防対策を登校に向けて体制づくりをします。感染予防に最善を尽くし、学校の再開に備えます。

5月7日の課題提出日に学習課題や計画表を配布しました。計画表は自分で1日の時間割を考え実行することを目的としています。みなさんは今やるべきこと、今しかできないことを再度念頭におき、学校再開に備えてください。

また、「新しい生活様式」も提示されました。

1 基本的な感染対策

- ・人との間隔はできるだけ2m(最低1m)
- ・症状がなくてもマスク着用
- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う

2 日常生活

- ・毎朝体温測定・健康チェック
- ・「3密」の回避(密集・密接・密閉)

3 トイレ感染リスクが比較的高いため留意が必要

- ・用を足した後はふたを閉めて流す

新聞の「編集手記」に植村直己さん(登山・冒険家)が引用されていました。

【もっとも大事なことは、各国の知見を集めてウィルスを封じ込め、ワクチンや治療薬を開発することで、感染症との闘いを覇権争いにすり替えてはならない ◆ 経済活動の再開に動く国も相次ぐ。新たな感染者を示すグラフが、下り坂にさしかかったためだろう。でも、油断は禁物。登山では上りより下りの方が難しいと聞く。】(抜粋)

もう一度気を引き締めて、自分の役割をしっかりと果たし、協力し合ってこの困難を乗り越え、みなさんが大人になったとき、「あの苦境に耐えた中学生は凄い」と言われるよう日々希望をもって努力を積み重ねてください。

令和2年5月11日

校長 堀内 雅之